

「ICU/CCUの薬の考え方, 使い方 ver.2」 〈2版7刷〉 正誤表  
(2025年5月現在)

---

「ICU/CCUの薬の考え方, 使い方 ver.2」 〈2版7刷〉 をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので, ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

---

- 83頁 下から8行目 [2025/5/16]  
(誤) また悪性**症候群**を起こす可能性がある…  
(正) また悪性**高熱症**を起こす可能性がある…
- 132頁 図16中の「 $\pi_c$ 」2箇所 [2025/5/16]  
(誤)  $\pi_c$   
(正)  $\pi_p$
- 167頁 表2 上部 [2025/5/16]  
(誤) 供血者(**レシピエント**)  
(正) 供血者(**ドナー**)
- 167頁 表2 左 [2025/5/16]  
(誤) **ドナー**(患者側)  
(正) **患者側**(レシピエント)

「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 ver.2」〈2版5刷〉正誤表  
(2020年6月現在)

---

「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 ver.2」〈2版5刷〉をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

---

200頁 図7 C

[2020/6/29]

(誤) 梨状窩

(正) 喉頭蓋谷

211頁 表5「ベンゾジアゼピン:ミダゾラム(ドルミカム®)10mg/2mL 1A」の「投与量」

(誤) 0.5~1.5mg/kg

(正) 0.05~0.15mg/kg

「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 Ver.2」〈2版4刷〉正誤表

(2018年6月現在)

---

「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 Ver.2」〈2版4刷〉をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

---

60頁 上から18行め ■使い方の「作り方」の表

(誤) 1.9A

プレセデックス® (200 µg/2mL)	1V	200 µg
0.9% 食塩水 (20mL)	1.9A	48cc

(正) 2.4A

プレセデックス® (200 µg/2mL)	1V	200 µg
0.9% 食塩水 (20mL)	2.4A	48cc

298頁 下から1行め ドブタミンメニューの「使い方」

(誤) 使い方：精密持続点滴2.5mL/時でスタート (体重×0.1mL/時：2.5.....)

(正) 使い方：精密持続点滴2.5mL/時でスタート (体重×0.05mL/時：2.5.....)

付録 12頁 下から11・12行め ドブタミンメニューの「使い方」

(誤) 使い方：精密持続点滴2.5mL/時でスタート  
(体重×0.1mL/時：2.5 µg/kg/分、50kgのとき)

※32.5～20 µg/kg/分で使う

(正) 使い方：精密持続点滴2.5mL/時でスタート  
(体重×0.05mL/時：2.5 µg/kg/分、50kgのとき)

※2.5～20 µg/kg/分で使う

「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 ver.2」〈2版3刷〉正誤表  
(2017年8月現在)

このたびは「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 ver.2」〈2版3刷〉をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

146 頁 図27

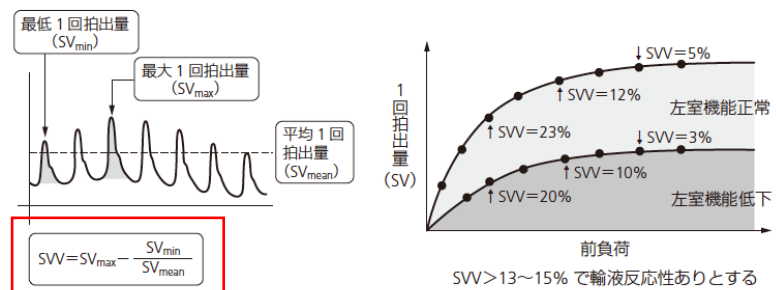


図27 1回拍出量呼吸性変動(SVV)

吸気終末と呼気終末での最大と最小の1回拍出量の変化率から輸液反応性を判断する。

(誤)

$$SVV = SV_{\max} - \frac{SV_{\min}}{SV_{\text{mean}}}$$

(正)

$$SVV = \frac{SV_{\max} - SV_{\min}}{SV_{\text{mean}}}$$

188 頁 上から8行め

(誤) ...1パック投与でHb 1mg/dL, Ht3%上昇を目安とし...

(正) ...1パック投与でHb 1g/dL, Ht3%上昇を目安とし...

「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 ver.2 (1刷)」 正誤表  
(2015年12月現在)

このたびは「ICU/CCUの薬の考え方、使い方 ver.2 (1刷)」をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

- 
- xxx頁 クレアチニンクリアランス (CCr) 推定式の男性・女性ともに割り算の分母で  
(誤) 血清**CCr**値 (mg/dL) → (正) 血清**Cre**値 (mg/dL)
- 65頁 表4 「プロポフォール」の「心筋虚血時の使用」  
(誤) **+** → (正) **±**
- 72頁 表10 Step4「不安よりも不穏/興奮状態といったせん妄が疑われる」  
(誤) ハロペリドール → (正) ハロペリドール, **デクスメドミジン**
- 122頁 表6のデメリットの1行目  
(誤) デキストラン>**HBS**>アルブミン → (正) デキストラン>**HES**>アルブミン
- 144頁 5行目  
(誤) 図**24**をみてください。 → (正) 図**25**をみてください。
- 147頁 図28の説明文の1行目  
(誤) …**肺**血症など炎症反応 → (正) …**敗**血症など炎症反応
- 189頁 表10 鑑別診断2項目  
(誤) **高**リン脂質抗体症候群 ⇒ (正) **抗**リン脂質抗体症候群
- 254頁 図2の下  
(誤) **挿**管を考慮 → (正) **抜**管を考慮
- 276頁 12行目  
(誤) …急性増悪で**NPPV**導入を… → (正) …急性増悪で**NIV**導入を…
- 300頁 ノルアドレナリンの「使い方」  
(誤) ノルアドレナリン5mg / 0.9%食塩水50mLを**1~5mL/時**で… → (正) **1.5~9mL/時**
- 301頁 下から5行目  
(誤) アドレナリン3mg / 0.9%食塩水50mL **0.5~15mL/時**でスタート (50kgで**0.01~0.3** μg/kg/分)  
(正) アドレナリン3mg / 0.9%食塩水50mL **0.5~8mL/時**でスタート (50kgで**0.01~0.16** μg/kg/分)
- 367頁 2行目  
(誤) ニコランジル10V / 0.9%食塩水60mLで**2~4mLフラッシュし2mL/時**スタート  
(正) ニコランジル10V / 0.9%食塩水60mLで**1.2~5.0mL/時**でスタート
- 367頁 14行目 ニコランジルメニューの使い方  
(誤) 精密持続点滴**1.2**mL/時でスタート (50kgで**0.8~3.3** μg/kg/分) → (正) **1.2~5.0**mL/時

- 469頁 上から2行目  
(誤) 高リン脂質抗体症候群 → (正) 抗リン脂質抗体症候群
- 706頁 表18 「感染臓器」の欄  
(誤) 中枢神経：髄膜炎(とくに脳外科術) → (正) 中枢神経：髄膜炎(とくに脳外科術後)
- 726頁 8行目  
(誤) …アムホテリシンBリポソーム製剤7.5mg/kg) 9回/日 → (正) 1回/日
- 733頁 19行目  
(誤) …悪いため脳内炎合併の際に… → (正) …悪いため眼内炎合併の際に…
- 735頁 表6、7の「ポリコナゾール」の投与量・投与間隔  
(誤) 内服：<40kgで10mg 12時間ごと → (正) 内服：<40kgで100mg 12時間ごと
- 752頁 図4の右上  
(誤) ノイミラーゼ阻害薬 → (正) ノイラミニダーゼ阻害薬
- 758頁 表4①のタイトルおよび表中  
(誤) パラシクロビル → (正) バラシクロビル
- 759頁 表4②のタイトルおよび表中  
(誤) パルガンシクロビル → (正) バルガンシクロビル
- 759頁 表4「②腎機能低下時の…」の下の行  
(誤) パラシクロビル：帯状疱疹での使用時 → (正) ガンシクロビル
- 773頁 表1 スケール1の一番下「血糖値(mg/dL) 321～」  
(誤) 0.1mL/時↑+Dr. コール ⇒ (正) 1.0mL/時↑+Dr. コール
- 817頁 表12の「プレアルブミン」の「コメント、判断」の項  
(誤) 低下：炎症の増悪が不十分な栄養サポート  
(正) 低下：炎症の増悪が不十分な栄養サポート
- 別冊付録7頁 ③クリティカルケアでの鎮痛薬の使い分け「プロポフォール」の「心筋虚血時の使用」  
(誤) + → (正) ±
- 別冊付録17頁 ニコランジルメニューの使い方  
(誤) 精密持続点滴1.2~mL/時でスタート → (正) 1.2~5.0 mL/時